# あおい通信 第191号

第191号 令和 3年4月1日
リハビリテーション
デイサービス葵・編集委員会
練馬区大泉学園町6－9－21
電話 03－3978－0919

## 富士五湖「山中湖」

### 富士五湖めぐり

**山中湖**

山中湖（やまなかこ）は、山梨県南都留郡山中湖村にある淡水湖。富士五湖のひとつ。面積は6・57km2あり、富士五湖の中で最大の面積を持つ。また、湖面の標高は富士五湖の中では最も高い位置にあり、日本全体でも第3位。逆に水深は富士五湖の中で最も浅い13・3m。富士箱根伊豆国立公園に指定されている。

「富士山-信仰の対象と芸術の源泉」の構成資産の一部として世界文化遺産に登録されている。

富士北麓に点在する富士五湖の中ではもっとも南東に位置し、南都留郡山中湖村の中央に位置する。

形が牛に似ているので、別名臥牛湖である。

また、山中湖は相模川の源流である。

なお、相模川は山梨県では桂川（かつらがわ）と呼ばれている。また、山中湖は富士五湖で唯一 天然の流出河川を持った湖でもある。湖面の形は北を上にして見ると鯨の形に似ている。

牛か鯨か？

湖面標高が高く、また水深が浅いことから、厳寒期には全面結氷することもあり、近年では2006年（平成18年）1月10日にほぼ全面の結氷が確認された。

砂嘴の「みさき」（通称大間々岬）で区切られる平野湾処（ひらのわんど）は水深が浅く、コイやウグイ、ワカサギが生息。明治期にはヒメマスの放流が試みられたが失敗し、1919年（大正8年）に、東京帝国大学教授の雨宮育作により、ワカサギの試験放流が成功し、ウナギやコイなどが放流された。近年では山中湖漁業協同組合により養殖されたブラックバスが放流され、釣り人が多く訪れる。比較的、波が穏やかなため冬期は結氷する事もあり、ワカサギの穴釣りが楽しめる。また「みさき」のズミの大木は山中湖村の天然記念物に指定されている。

平野地区の通称ママの森の沖合には、フジマリモが生息することが、1956年（昭和31年）に小学校の授業中に発見された。通常、高緯度地方に生息するマリモの分布南限であることから、山梨県の天然記念物に指定されている。

## 東西南北

四月と云えば、日本の場合、桜の話題ははずせないでしょう。気象庁の今年の開花予想を振り返ってみたいと思う。

「今冬は、たびたび非常に強い寒気が流れ込みましたが、冬の入り口である11月の気温がかなり高かったため、休眠打破は鈍めの所が多いとみられます。2月は気温がかなり高くなりましたが、この先3月も高い状態が続く見込みで、このため、休眠打破が鈍い影響よりも2月3月の大幅な高温の影響が大きいため、開花は平年よりかなり早くなりそうです。」

そんな予想の中、広島県では日本中で最も早く3月11日に開花宣言がなされ、東京でも14日に開花が発表会された。

緊急事態は3月21日には解除（現況での解除は賛否も両論、尚早であるとの意見も多かった）されたが以前の様な、お花見会はとても出来ないだろう。

淡いピンクの花がぽつぽつと咲き。甘い匂いを漂わせながら、おいでおいでと誘惑する。

小池都知事はこう云う「みなさん、月や花は目で見るものばかりとは限りません。今春はステイホームしながらでも、月や花を心に思い描けば、情趣を十分味わえるのですよ・・・」

悩ましいのは満開の予想日が解除と重なることだ。

Kドラゴン

## 談話室

### エイプリルフールはウソの新年？

4月1日のエイプリルフールは日本でもお馴染みの風習だ。日本語に直訳すると「四月馬鹿」。推理作家・横溝正史が1921年に発表した処女作に『恐ろしき四月馬鹿』という題名をつけていることからこの時代には日本でも「エイプリルフール」という言葉が知られていたことになるが、一体いつ頃からある風習なのだろうか？

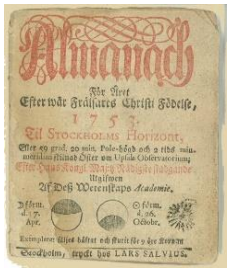
実はエイプリルフールの起源ははっきりしておらず、多くの説が伝えられている。中でも有力なのが、「暦が変わった」説だ。1564年、フランスでは国王シャルル9世によって、4月1日を新年とするそれまでの暦から1月1日を新年とするグゴリオ暦に暦が変更された。

シャルル9世

それまで4月1日に盛大に新年のお祭りが行われていたが、突然3ヶ月も前倒しになるという決定に市民は驚き、反発。そして「4月1日はウソの新年だ」と言われるようになった。これが4月1日に嘘をついてもいい日となったのが一説なのだと言われる。

さらに、インドの修行説、ノアの箱舟説様々な説もある。

ヨッチャン




◆編集委員会より
「あおい通信」は皆様からの原稿を募集しています。
係員・飯島

## 昭和回顧録

河角　進

### 旧満州開拓と同級生の死

私の生まれた信州冨士見村（現町）は戸数三十三戸の寒村で耕す農地が少ないので、政府拓務者の勧めていた旧満州国の開拓に賛同した父は、祖父母と長兄三人を残し、昭和十六年五月、同じ村の家族達と、新潟港から「白山丸（四千九百トン）」の船で現北朝鮮の羅津港を目指して出港し二日程の航海で羅津へ上陸。汽車に乗り替えて「哈爾濱（ハルピン）」へ到着。今度は「松花江」を船で下って「木蘭」と云う港町で下船、そこから二十キロほど離れた所に出来ていた「浜江省木蘭県王家屯開拓団」に到着した。それから二年後、共同生活から脱し、新しい部落が出来、個人経営に移行し、前田源作氏が住む五常県山河で、秋の収穫まで稲作りの実習生として過ごした。幸いにこの年の品評会で一位の賞を貰ったことがある。又前田氏の実弟、前田松次郎氏の哈爾濱郊外、王岡（ワンガン）の農場で、同級生だった金井忠茂、福島元両君も私と同じ実習生として住み込み、主として大豆、小麦などの畑作を一年間働いた。

そして年昭和十九年の十二月に一緒帰国した。

次の年二十年四月に木蘭に行き、新設の県立農商の一期生として、団の七名ほどの生徒と入学した。午前に授業、午后は畑の仕事などで、八月十五日の終戦日を迎え、学校は閉校、その夜、街の日本人は皆殺しと云う言葉に慌てて、夜中に街を逃げ出し一晩中歩いて開拓団の自宅へ帰り着いたのが二十一日の朝八時頃。

その後三、四日は毎日現地人の攻撃を受け二十日には折角造った家を捨てて、病院まで一三〇〇米ほどの道を、家族を守りながらの逃亡だった。

病院に着くと先述した同級生忠茂君が暴徒に殺されたとの報に接し、直ちに応援に向かったが途る一行と出逢い一緒に引き上げたのだった。余りにも早過ぎる死に、今でも口惜しくて残念な想いは消えない。

（註）長野県は全国一の開拓県。冨士見村の九百名の内三百名程は未帰還である。

## 利用者さんの紹介コーナー

**滝井　和子（水）**

「野球帽テニムのジャンパー身につけて風とたわむる吾子は三才」と詠んでから五十年。今は私の手をひいてくれるようになりました。いくつになっても子供はかわいい私の宝物です。

## 戦国武将ヒストリー

### 徳川家康

徳川　家康は、戦国時代から江戸時代初期にかけての武将・戦国大名・天下人。安祥松平家９代当主で徳川家や徳川将軍家、御三家の始祖。旧称は松平元康（まつだいら もとやす）。戦国時代に終止符を打ち、朝廷より征夷大将軍に任せられ、１６０３年、２６０年間続く江戸幕府を開いた。三英傑の一人である。

家系は三河国の国人土豪・松平氏。幼名は竹千代。通称は次郎三郎のちに蔵人佐。諱は今川義元より偏諱を受けて元信（もとのぶ）次いで元康と名乗るが、今川氏から独立した際に「元」を返上して家康に改める。

勅許され永禄９年12月29日に徳川氏に改姓。本姓は私的には源氏を称していた。従五位の叙位に際し藤原氏と称し、豊臣政権では豊臣氏を称した形跡もあるが、天正16年以降に源氏を再び称している。

幼少期を織田氏ついで今川氏の下で人質として過ごす。永禄３年、桶狭間の戦いでの今川義元の討死を機に今川氏から独立して織田信長と同盟を結び、三河国・遠江国に版図を広げる。信長が天正10年に本能寺の変において死亡すると天正壬午の乱を制して甲斐国・信濃国を手中に収める。

信長没後に勢力を伸張した豊臣秀吉と小牧・長久手の戦いで対峙するが、後に秀吉に臣従。小田原征伐後は後北条氏の旧領関東への転封を命ぜられ豊臣政権下で最大の領地を得る。

秀吉晩年には五大老に列せられ大老筆頭となる。秀吉没後の慶長５年に関ヶ原の戦いにおいて西軍に勝利。慶長８年に征夷大将軍に任命され武蔵国江戸に幕府を開く。

慶長20年に豊臣氏を滅亡させ、日本全国を支配する体制を確立。

15世紀後半に起こった応仁の乱から百年以上続いた戦乱の時代（戦国時代・安土桃山時代）が終結。家康がその礎を築いた江戸幕府を中心とする統治体制は後に幕藩体制と称され２６４年間続く江戸時代を画した。

死後は日光東照宮に祀られ、薬師如来を本地とする東照大権現（とうしょうだいごんげん）として神格化され、「神君」（しんくん）、「東照宮」（とうしょうぐう）、「権現様」（ごんげんさま）とも呼ばれて信仰される。また、江戸幕府の祖として「神祖」、「烈祖」、などとも称された。

## 無限の世界

高野勝也

２０２１年３月２日

昨夜は突然の大風に驚き目が覚めました。

二十代の頃、新潟県に住んでいました。秋の台風が、ゴーと大きな音を立てて突然吹いてきて、当時下宿していた宿の大杉が幹の途中から真っ二つに折れた事を思い出しました。

四～五十センチもある大木を途中からへし折る風のエネルギーに驚き、あきれ敬服しました。台風が去って外に出ると、向かいの家の屋根が隣の屋根に乗っかっていて、またまた驚きました。あの重い屋根を持ち上げて乗せるなんて大業はとても神様でなければ出来ません。恐るべき快力！とても人間業では無理です。神様はいらっしゃるのですね。

目に見えない存在というものが有るのですね。きっと有るのです！

一目、お会いしたいです。何処へ行けばお会いできるのでしょうか。どうか教えて下さい。

今、大きな空を見上げています。美しい青空です。どこまでも続く不思議な空間です。白い雲が浮かぶ実に広い広がりです。白い雲と一緒に浮かびたいです。

「おーい雲よ！」誰かが呼びかけた様に浮かびたいよ！そして何処までも旅が出来たら！どこまでも行きたいよ！楽しいだろうね！どこまでも、どこまでも大空を旅することが出来たら、ほんとうに素晴らしいよね

無限の世界にね！無限世界！無限世界にね！行き着くことがない世界、そんな無限の空間があったら？

絶対の世界に行って見たい！絶対にね！

どんな空間が広がっているのかな！見ることができるのだろうか。

やっぱり見たいね！目が醒めるのかな？

## 雑学館

①そうめんと冷麦

夏場、暑くて食欲がない時に重宝するのが冷麦やそうめんの冷たい麺類。このそうめんと冷麦、どちらも細く白い麺だが、太さに違いがある。これはＪＡＳ（日本農林規格）によって決められて。いる1.3ミリ未満がそうめん1.3ミリ以上～1.7ミリ未満が冷麦とする。製法も異なりがある。材料はともに小麦粉で、食塩水で練り上げるまでは同じだが・そうめんは油を塗りながら細く長く引き伸ばしていき、冷麦は綿棒で延ばした後に細く切っていく。こちらは油を使わない。

②卵と玉子

「飼っていた鳥が卵を産んだ」とは書くが「玉子を生んだ」とは書かない。ではなぜ「玉子」という表記があるのだろう？

卵と玉子の表記に明確な線引きはない。「生物学的には卵」「食材としては玉子」とするのが一般的だ。

「たまごを産んだ」「たまごが孵った」という場合は「卵」を「たまご焼き」「たまごが安い」といった場合は「玉子」を使うといいだろう。